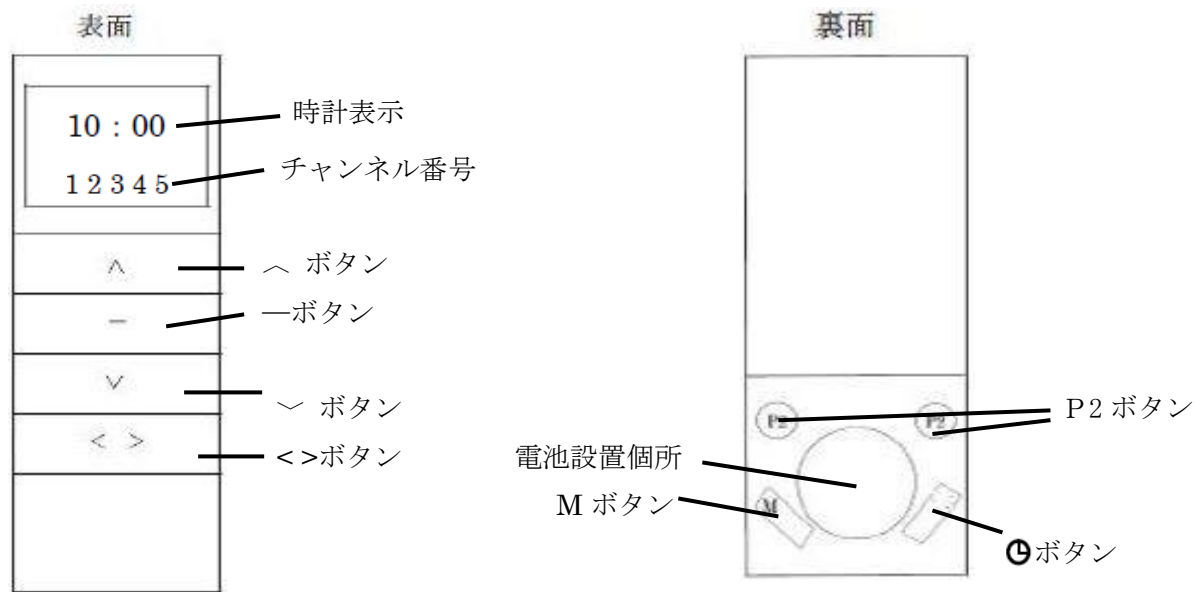




操作方法	FM
チャンネル	5 チャンネル + 一斉操作
作動距離	約 30m
使用周波数帯(Hz)	429.1875MHz ± 3.13KHz
投射角度	なし
使用温度範囲	-10℃～50℃
重量	63g
使用電源	CR2450 一個

※リモコンの操作ボタンを押しても、シェードが反応しない、反応が遅れる、といった現象が稀に発生しますが、製品の個体差・特性となります。シェードが反応しない場合は、再度リモコンの操作ボタンを押して下さい。

まずはじめに

リモコン裏に電池を入れてください。

基本操作 ※全ての操作は、「長押し」すると、シェードが反応しやすくなります。

- ・シェードを下げる場合は、▼ ボタンを押して下さい。
- ・シェードを上げる場合は、▲ ボタンを押して下さい。
- ・シェード昇降中に途中で止める場合は、一ボタンを押して下さい。

※下記の「お好みの位置での自動停止設定」をしている場合は、どの位置でも良いので、シェードが止まっている状態で一ボタンを 3～4 秒程度長押しすると、自動で「設定したお好みの位置」まで昇降します。電動式ダブルタイプの場合、出荷時に、「お好みの位置での自動停止設定」が完了しております。電動式ダブルタイプの「お好みの位置での自動停止設定」は、上の生地が一番下まで下がり切り、下の生地はたたまれた状態(全閉時、上の生地のみになった状態)となります。

※ボトムレールとミドルレールが両方とも一番下まで下がっている状態

操作するシェードの変更方法

- ・<>ボタンで、操作するシェードのチャンネルを変更し、操作して下さい。(工場出荷時に、シェードとチャンネルの設定は完了しております。)
- ・複数台のシェードを全てまとめて操作する場合は、「1 チャンネルから < ボタンを押す」か、「5 チャンネルから > ボタンを押す」操作をすると、全てのチャンネルに■マークが付いた状態となりますので、その状態で操作をすると「全シェードをまとめて操作」となります。

※1 チャンネルにつき、1 台のみの操作となります。1 チャンネルで複数台のシェードの操作はできません。

※複数台のシェードを 1 つのリモコンで操作する場合、1 台ずつ操作をするか、全台まとめて操作をするかのどちらかとなります。

時間設定方法

①リモコン裏面の M ボタンを押し、時間表示の左に表示されている文字を「MAN」にします。

②リモコン裏面の ㊿ ボタンを長押しすると、時間表示が点滅します。

③ ⬆️ ボタンで時間を設定します。

④ > ボタンで分の設定に移行するので、⬆️ ボタンで分を設定します。

⑤ > ボタンで曜日の設定に移行するので、⬆️ ボタンで曜日を設定します。

⑥全ての設定終了後、㊿ ボタンを長押しすると時間・分表示が点滅するので、もう一度㊿ ボタンを押すと設定完了です。

【注意】リモコン裏面には「P2 ボタン」が 2 つ付いていますが、細かな設定などに関係するボタンとなりますので、極力触れないようにご注意ください。

最上部設定・最下部設定の変更方法

☆最上部とは、へ ボタンを押した際、シェードが自動で一番上まで上がり切る位置です。

☆最下部とは、ゝ ボタンを押した際、シェードが自動で一番下まで下がり切る位置です。

注意）工場出荷時に、設定は完了しています。設定を変更したい場合に限り、操作を行って下さい。

注意）シェードが複数台ある場合、変更したいシェードのチャンネル番号に合わせてから操作を行って下さい。

注意）設定する際、最上部設定と最下部設定は両方まとめた設定となります。（どちらか片方のみの設定はできません）

重要）全ての手順で、1 度ボタンを押すたびにシェードが少し動きます(シェードが少し動き終わるまで、次の手順へは進まないで下さい)

《最上部の設定方法》 ※上手く設定できない場合は、シェードを一番上まで上げて、その後、下記の手順の①⇒②⇒③⇒⑤⇒⑥の方法でお試してください。

①P2 ボタンを押します。

②へ ボタンを押します。

③P2 ボタンを押します。

④最上部（自動で上がりきる位置）に設定したい場所まで、シェードを操作します。

⑤—ボタンを 5～10 秒程度、長押しします。

⑥シェードが少し動けば設定完了です。（シェードが少し動くまで長押しし続けてください）

《最下部の設定方法》※最上部を設定した後、続けての設定となります。

①最下部（自動で下がりきる位置）に設定したい場所まで、シェードを操作します。

②—ボタンを 5～10 秒程度、長押しします。

③シェードが少し動けば設定完了です。（シェードが少し動くまで長押しし続けてください）

お好みの位置での自動停止設定の方法

☆この設定を行うと、シェードが止まっている状態で 一ボタン をしばらく長押しすると、設定した場所まで自動で昇降します。

注意) シェードが複数台ある場合、設定したいシェードのチャンネル番号に合わせてから操作を行って下さい。

注意) 上記の、「最上部設定・最下部設定」が完了している状態で設定を行って下さい。

※「最上部設定・最下部設定」が完了していないと、「お好みの位置での自動停止設定」は行えません。

※工場出荷時に「最上部設定・最下部設定」は完了しているため、基本的には納品時であれば、そのまま「お好みの位置での自動停止設定」は設定可能です。

重要) 全ての工程で、1 度ボタンを押すたびにシェードが少し動きます(シェードが少し動き終わるまで、次の工程へは進まないで下さい)

《お好みの位置での自動停止設定方法》

- ①シェードを操作し、好きな位置で止めます。
- ②P2 ボタンを押します。
- ③一ボタンを押します。
- ④もう一度、一ボタンを押せば設定完了です。

タイマー設定方法

☆時間設定後、タイマー設定を行うと、設定した時間に自動で昇降します。

☆タイマー操作をする場合、リモコン裏面の M ボタンを押し、時計表示の左の文字を「AUTO」にしてください。

注意) 同じ「AUTO」でも、逆三角形マークのついた  は選択しないで下さい。

注意) タイマー作動時、選択しているチャンネルのシェードのみが自動で昇降します。

注意) タイマー設定は、全ての曜日を設定する必要があります。(1 つの曜日だけの設定はできません)

●重要：複数のシェードをタイマー設定で操作する場合、1 台ずつ全ての曜日で設定する必要があります。

例) 全 3 台をタイマー設定で操作する場合、シェード①の昇降時間を全曜日で設定し、シェード②の昇降時間も全曜日で設定し、シェード③の昇降時間も全曜日で設定する必要があります。(設定後、チャンネルを全選択すると、シェードが全て動きます。)

《シェードが上がる時間の設定》

- ①  ボタンを長押しします。
- ②表示される時間が変わり、時計表時の上部に  マークが表示されるので、もう一度  ボタンを押します。
- ③時間部分が点滅するので、 ボタンで「時間」を設定して下さい。
- ④>ボタンで「分」の部分が点滅し、分の設定に移行するので、 ボタンで「分」を設定して下さい。

《シェードが下がる時間の設定》

- ①「シェードが上がる時間の設定」が終わったら、すぐ **M** ボタンを押します。
- ②表示される時間が変わり、時計表時の下部に  マークが付きます。
- ③そのまま時間部分が点滅するので、 ボタンで「時間」を設定して下さい。
- ④>ボタンで「分」の部分が点滅し、分の設定に移行するので、 ボタンで「分」を設定して下さい。

《曜日の設定》

- ①「シェードが上がる時間」「シェードが下がる時間」の設定が終了したら、 ボタンを押します。
 - ②曜日が1つ変わりますので、再度、「シェードが上がる時間」「シェードが下がる時間」を設定して下さい。
- ※タイマー設定は、曜日ごとに1つずつ設定して下さい。全ての曜日をまとめて設定する事はできません。
- ※時間設定・分設定をする際に、タイマーを設定しない曜日がある場合は、その曜日の時間設定を、 ボタンを押し続けて「---」にして下さい。
- （シェードが上がる時間と下がる時間の両方とも）
- ※時間設定をする際、シェードが上がる時間と下がる時間の間隔を1時間以上空けて下さい。

《完了》

- ①「シェードが上がる時間」「シェードが下がる時間」「曜日」の全ての設定が完了したら、 ボタンを長押しして下さい。
- ②時間表示が3回程度点滅すれば、設定完了です。

その他注意事項

- 連窓でお取り付けいただいた場合、同時に操作をすると、昇降のスピードに若干誤差が生じるため全てのシェードがぴったり揃った状態では昇降しません。
昇降スピードに若干の誤差が生じ、多少不揃いな状態にはなりますが、製品の特性となりますのでご了承下さい。
- 電動タイプは、自動で中のコードを巻き上げています。昇降途中に家具などに緩衝してしまうと、中のコードが正しく巻き上げられず絡まった状態で巻き上げてしまい、故障となります。シェード付近には緩衝するような家具などは置かず、自然に昇降できるようご注意ください。
- リモコンの操作ボタンを押しても、「シェードが反応しない」「反応が遅れる」といった現象が稀に発生しますが、製品の個体差・特性となります。
シェードが反応しない場合は、再度リモコンの操作ボタンを押して下さい。（操作時、長押しをすると若干反応しやすくなります。）